和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第２２号

2020年2月14日

2019 年度◆SGH 海外研修◆
ベトナム研修 その１

2019 年 11 月４日 ～ 11 月９日

テーマ「地域産業」

今年度は２年生８名が参加しました。
事前研修では大洋化学の本社と美浜工場を訪問し、学校で分別したペットボトルが新しい製品としてリサイクルされる過程を見学した他、英語での講義を受講しました。
今年のチームは「プラスチック海洋ゴミ問題」に焦点をあて、現地ではハノイで活動する和田秀樹さんにもご協力いただき、ゴミ埋め立て処理場やプラスチック村を案内していただきました。

主な研修内容

11/4　出国、ハノイ市内見学
11/5　ゴミ埋め立て地視察，プラスチック村視察
11/6　チャンフー高校での協働学修
11/7　JICA ベトナム事務所での研修，ホーチミンへ移動
11/8　企業（AEON）のゴミ問題への取組を受講、出国
11/9　帰国

事前研修
大洋化学本社にて

２年３組　武内　優希

事前研修で、世界のプラスチックゴミ問題はかなり深刻であるということを学びました。年間に少なくとも約800万トンものプラスチックゴミが海に流れ込んでいて、このままの状態が続くと海にあるゴミの量は 2050年に魚と同じ量になってしまうと言われています。マイクロプラスチックといわれる目に見えるか見えないくらいの極小さいゴミが海にはたくさんあり、それを生き物が食べてしまって命を落としてしまうなど、環境に大きな影響を及ぼしている事実を知り、私たちには何ができるだろうとメンバーで考え始めました。
現地研修では２日目にプラスチック村を訪れました。そこはプラスチックゴミを集めて分別し、それらをペレット（粒子）に加工後、プラスチック原料として国外へ輸出することで経済が成り立っている村でした。その村で見た機械の中に、事前研修でお世話になった大洋化学の工場にあったものとよく似ている機械があり、よい技術は世界で共有されるのだということを改めて実感しました。
また、協働してプラスチックゴミ問題への対策を共有しあったチャンフー高校では、最後に私たちからのお土産としてリサイクルトレーをプレゼントしました。これはもちろん、学校で皆が分別したペットボトルが市の清掃センターで粉砕後、大洋化学の工場で製品化されたものです。ベトナムの高校生は皆、このトレーに興味を持ってくれていました。その姿を見て、もっといろいろなところでこのトレーを広めることが、ゴミ問題やリサイクル活動に関心を持ってもらうことに繋がるのではないかと考えました。しっかり考えて、何かしたいと思っています。